

公開シンポジウム「情報学シンポジウム」の開催について

主催： 日本学術会議情報学委員会

後援： 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立情報学研究所(NII)

日時： 平成29年1月12日(木) 13:30 ~ 18:00

場所： 日本学術会議講堂(東京都港区六本木7-22-34)

アクセス： 東京メトロ千代田線「乃木坂」駅5出口

開催趣旨：

本シンポジウムでは、情報学分野の最近の研究動向に関連した講演とパネル討論を行い、情報学の発展を促す施策からその社会的インパクトまで、情報学を取り巻くさまざまな話題に関する議論を行う。情報学におけるホットな話題としてIoT、ビッグデータ、人工知能、サイバーセキュリティなどが学术界でも産業界でも、また我が国のみならず世界中で注目を集めている。これらの分野の研究が進展することで、日常生活でも産業分野でもネットワーク化・スマート化がさらに進むことが予見されており、我が国では第5期科学技術基本計画で提唱された超サイバー社会、米国では Smart and Connected Communities などのビジョンが語られている。また、学術の発展に目を向けると、オープンサイエンスが果たす役割も重要である。情報学に関わるこのような技術の高度化や基盤の整備が、未来の社会にどのようなインパクトを与えるかについて議論を深めたい。

そのために、米国 NSF 及び中国 CCF からは招待講演者をお招きし、情報学分野の最近の研究戦略に関して講演をいただく。我が国の動向に関しては、文部科学省より、情報通信分野に関連する最近の施策の動向、さらに国の科学技術政策の推進に関わる情報学分野への期待・要望等に関する講演をいただく。情報学委員会からは、最近の活動状況を紹介する。そして、パネル討論では、オープンサイエンスに関する議論を行う。これらにより、現況における情報学分野の位置付けを明確にした上で、情報学委員会の審議活動につなげたいと考えている。

プログラム(案)：【今後、内容に多少の変更の可能性があります】

13:30~13:50 開会挨拶と情報学委員会報告

喜連川 優(日本学術会議第三部会員、大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立情報学研究所所長)

13:50~14:20 招待講演「情報通信分野に関連する最近の施策の動向の紹介」
(文部科学省)(講演者調整中)

- 14:20～15:10 招待講演「NSFにおけるITの展望」
Jim Kurose (Assistant Director, National Science Foundation)
- 15:10～16:00 招待講演「CCFにおけるITの展望」
Wen Gao (President, China Computer Federation)
- 16:00～16:15 休憩
- 16:15～16:40 講演「オープンサイエンスの提言」(仮題)
土井美和子(日本学術会議第三部会員、国立研究開発法人情報通信研究機構監事)
- 16:40～17:00 講演「オープンサイエンス、研究データ基盤をめぐる国際動向」
村山泰啓(日本学術会議第三部特任連携会員、G7オープンサイエンス作業部会日本代表委員、ICSU-WDS国際委員、国立研究開発法人情報通信研究機構研究統括)
- 17:00～17:50 パネル討論 オープンサイエンスの展望
喜連川 優(日本学術会議第三部会員、大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立情報学研究所所長)
原山 優子(総合科学技術・イノベーション会議議員)
大西 隆(日本学術会議会長・第三部会員、豊橋技術科学大学学長)
羽入 佐和子(国立国会図書館館長)
- 17:50～18:00 閉会挨拶
徳田 英幸(日本学術会議第三部会員、慶應義塾大学環境情報学部教授)

※ 最新情報及び参加申し込みに関して、以下をご参照ください。

<http://www-higashi.ist.osaka-u.ac.jp/scj/symposium10.html>